川俣町移住ツアーシリーズ

かわまたを知る

川俣町の暮らしを知ってほしい――。町民や町内企業・事業者の皆さんのそんな思いから「川俣町移住ツアーシリーズ」が開催されています。

ちょうどいい田舎暮らし

川俣暮らしの体験や町内の事業者、地域活性化のために活動する地域のキーマン・先輩移住者との交流を通じて、川俣町への理解を深めることを目的とした「川俣町移住ツアーシリーズ」。

令和3年度から始まったこの事業は「ちょうどいい田舎暮らし体験」をスローガンに川俣町内の観光名所や各施設を回るほか、川俣町で実際に働いて地域活性に関わる人を訪れ、町での暮らしをより体験でき、ツアー参加者は全国各地から集まります。

川俣町移住ツアーシリーズは「移住体験ツアー」「就農体験ツアー」「かわまた暮らし体験ツアー」の3つに分けて開催しており、移住に対する意識やライフステージなど参加者のニーズに応じ、移住後の生活に近い体験を選択することができます。

絹と町の歴史を伝える

ツアーの1つ「移住体験ツアー」の受け入れ先になっている紺野機業場代表である紺野峰夫さん。紺野さんは7年前にこの会社を継いでから、町外からの観光客や同業

紺野機業場代表
紺野 峰夫（みねお） さん（日和田）

1

2

3

者も受け入れた工場見学を企画するなどツアーが始まる前から絹と町の歴史を伝えてきました。「移住体験ツアーでは、町の歴史に触れながら100年以上続くこの工場で今も機織業が続いているということを見てもらい、町の歴史を少しでも感じてもらえたら良いなと思っています。私ができることを考えたときに絹について一番知っている私たちは、絹で栄えた町の歴史と機織業について伝えるのが良いのかなと思いました。ここで話したことが誰かひとりでも多くの人に届けば嬉しいです」と紺野さんは話します。

未来に何が残せるか

「100年以上も工場が続いてきたのは伝統や技術が人から人へ伝え受け継がれてきたからです。それは企業だけではなく町においても同様だと思っています。私たち大人が子どもたちに何を残せるのか、何を残したいのか。町の未来を担うのは未来を生きる子どもたちですが、その子どもたちに何を残したいのか、伝えるのかを決めるのは今を生きる私たちの役目だと思っています」そう話す紺野さんの目は未来をしっかりと見つめていました。

「ツアー工程表（各ツアーから抜粋）」

9：00～ 株式会社 smilefarm で施設見学＆収穫体験

10：05～ 山木屋内バス見学

12：00～ 吉村さん宅で先輩移住者を交えた昼食会

13：00～ 参加者と町内企業による座談会

18：00～ おじまふるさと交流館でウェルカム演奏披露会

1 就農体験ツアーでは花や米の収穫体験が行われる　2 体験ツアーの初日には山木屋太鼓やフォルクローレ演奏が披露される　4 移住体験ツアーで行われた紺野機業場見学　3・5・6 吉村さん宅で行われた先輩移住者との交流会では川俣町産の材料で作られたピザが振る舞われた